

第4回

 Visit Yame

観光地域づくりトーク

着地型観光の 商品づくり

～ 旅する茶のくにバスツアー・茶のくにタクシーガイドツアー ～

2026年度 第4回放送 2026年6月4日

FM八女観光局



「着地型観光商品」って、何が違う？

観光地を「見る」から、地域を「体験する」へ



一般的な観光商品

大手旅行会社が、観光名所巡りや宿泊をパッケージ化して販売するものが中心。「観光地を見る」ことが目的になりやすい。



着地型観光商品

地域に住む人たちが企画し、地域ならではの体験を楽しんでもらう商品。「地域を体験する」ことが目的。

地域の飲食店・体験事業者にもお金が循環し、
地域活性化につながる。

体験① 旅する茶のくにバスツアー

平成25年(2013年)から続く、周遊型バスツアー



13年目を迎える 定番ツアー

久留米市内を発着地とし、市外・県外から来られるお客様を対象に、八女市内での体験や食事を組み込んだ周遊型バスツアー。市内の二次交通不足を補う目的ではじまった。

1

まずは一度、来てもらう

バスツアーが、八女との最初の出会いになる

2

定番の魅力を、行程の中心に

八女らしさをしっかり体験してもらえる内容に構成

3

再来訪へつなげる

公共交通機関やマイカーで、リピーターとして戻ってきてもらうことを目指す

4

令和8年度は春・秋に運行へ

4月は大藤まつり、秋は文化や歴史をテーマに運行予定

「八女人ガイド」が、旅を特別にする

地元の方だからこそ伝えられる、ガイドブックにない話



八女人ガイド

施設の説明や名所の案内だけでなく、地元に長く暮らしているからこそ知っている、ガイドブックには載っていない地元の話を丁寧に伝えてもらっている。

スタッフも乗務前に立ち寄り先の歴史やおすすめを調べ、車内でお客様全員と言葉を交わせるよう準備



店舗との連携も、旅の一部に

立ち寄り先のお店や施設とも事前にしっかり打ち合わせ。短い滞在時間でも、そのお店ならではのおもてなしを準備してもらう。

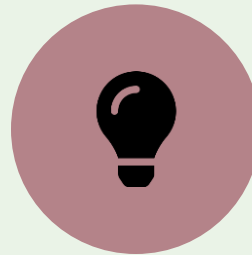
お昼ごはんもお買い物も、ただの休憩時間ではなく「地域との出会いの場」に。その積み重ねが「また来たい」という気持ちにつながる。

体験② 茶のくにタクシーガイドツアー

誕生のきっかけは、観光案内所でのひとつの出来事



海外からのお客様が「公共交通機関を使って八女中央大茶園まで行きたい」と希望されたが、路線バスは大茶園まで届いておらず、ご希望に沿えないまま残念そうな表情でお帰りになった。



「何とかできないだろうか」という思いから、ガイド付きタクシーツアーのアイデアが生まれた。

案内する人を選んだのは、地元を語れる人たち

令和6年8月スタート。茶のくに観光案内所を発着に



国内のお客様

FM八女パーソナリティをはじめ、八女を深く知るガイドが「顔の見える案内人」として旅に同行する。



海外のお客様

英語・ドイツ語対応の専門ガイドが協力。幅広い体制を整え、遠方から市内に宿泊されるお客様を主なターゲットにしている。

発着は「茶のくに観光案内所」。八女茶をテーマにした少人数制の3コースを用意。

八女茶をテーマにした、3つのコース

所要時間も体験内容も、それぞれに個性がある

約2時間



八女中央大茶園コース

白壁の町並みを經由し、大茶園を見学。美緑園製茶で「すすり茶体験」(蓋つき湯呑で玉露の香りと旨みを味わう伝統的な飲み方)

約4時間



星野・上陽コース

星野村茶の文化館で石臼を使った抹茶ひき体験。上陽町のダニエルノウエミュージアムも見学

新設コース



黒木コース

八女茶発祥の地・霊巖寺で座禅体験(約30分)。旧松木家住宅でお茶の淹れ方を学び、茶畑を巡って生産者と交流

実績と、お客様の声

令和7年度、確かな手応え



令和7年度実績

83名

利用者数

38本

催行数 ※ほとんどが海外からのお客様



お客様アンケートより

「ガイドの説明がとても良く、旅先で訪れた町の歴史や背景を理解できることは非常に重要なことです。だからこそ今回の体験ツアーは特別なものになりました。」

場所を「見る」だけでなく、その背景を「知る」ことで旅の意味が深まる。情報を伝えるだけでなく、その土地への関心や愛着を一緒に育てる時間を目指している。

今日のまとめ

1

着地型観光商品とは

地域の人が企画し、地域ならではの体験を届ける観光商品

2

旅する茶のくにバスツアー

2013年から続く周遊型バスツアー。「八女人ガイド」がまた来たい気持ちをつくる

3

茶のくにタクシーガイドツアー誕生

案内所での出来事から、「行けない場所に行ける」ガイド付きツアーが生まれた

4

八女茶をテーマにした3コース

大茶園・星野上陽・黒木、それぞれ異なる体験が楽しめる

5

確かな実績と評価

R7年度83名・38本催行。海外のお客様から高い評価の声

観光地域づくりトーク 結び

八女での時間を、 もっと長く、もっと深く

これからも着地型観光商品を増やし、八女を訪れた方の滞在時間が長くなるような商品づくりを続けていく。詳しくはFM八女観光局・茶のくに観光案内所まで。

観光地域づくりトーク 次回もどうぞお楽しみに

